です。



令和3年12月20日(月) no.37 文責:上田

## 新型コロナ 新たな「県リスクレベル」に

熊本県下では一月以上、新型コロナ感染の報告はされていませんが、ここ数日、オミクロン株の感染確認が全国的に報じられています。一般的にウイルスは増殖・流行を繰り返す中で変異していくものであり、 今回のオミクロン株は感染性が高いとも言われています。新たな脅威とならなければと願わざるをえません。

熊本県では、感染リスクレベルの見直しが行われ、現在、5段階の「O(感染者ゼロレベル)」とされています。県教育委員会では、文科省の衛生管理マニュアルに照らした地域の感染レベルの設定基準等(裏面)が示されました。西原村教育委員会『新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う臨時休業等の基準』等には変更はありません。これまで同様、感染対策を講じていただくとともに、発熱等の風邪症状での欠席の際には、出席停止等の判断のため具体的に症状をお伝えください。

## 村学校保健委員会便り 今一度、よくお読みいただけますか

- 保・小・中とも「スマートフォン等の使用」が8割を超え、I/3の家庭でルールがない
- 2時間以上使用の場合、5歳児では9時前就寝はなく、小学生では10時前就寝に2割の差、中学生では12時過ぎ就寝が3割もいる 環境は25月後度 5月後度 10 (2000年度) 10 (2000年度

これは、村の小・中学校、教育委員会、学校医等で組織されている学校保健委員会のアンケート集計結果です。

以前からスマホ等の SNS 機器での動画やゲームは脳への強い刺激で睡眠を阻害することが指摘されてきましたが、西原村においてもこれほど顕著な結果が出ています。冬休みを前に、家族で子どものスマホ等の SNS 機器の利用について考えていただければと思います。



# コラム 渡小学校(球磨村)へボランティアに出かけました

昨年の県南豪雨で児童会と PTA で被災地支援として文具やタオルなどを届けことを覚えておられるか

と思います。先日、被災して誰も通わなくなった渡小学校にイルミネーションの設置にボランティアとしてうかがいました。渡小の犬童校長先生から被災当時の支援物資のお礼があらためてありました。被災から1年が経ちましたが、渡小学校は、今も一勝地小学校内のプレハブ校舎で学校生活を送っています(1月からは球磨中学校に移転)。 球磨川下りの発船場があり、人吉出身の犬童球渓が教鞭をとり校歌を作詞・作曲した自然豊かな校区ですが、水害で14名の死者のあった千寿園とは道隣りです。がれきが積まれた玄関や泥まみれの職員室とは対照的に、PTAによって飾られた立派な門松に胸が絞めつけられました。







### 文部科学省「衛生管理マニュアル」における地域の感染レベルの設定基準(県立学校)等

能太県教育委員会

県リスクレベル(目安)			衛生管理マニュアル				
レベル	本県の基準		14.13.5	地域の感染レベル毎の行動基準等			
	病床基準 (最大確保病床使用率)	新規感染者基準 (週感染者数)	地域の 感染レベル	身体的距離	登校	感染リスクの 高い教科活動	部活動(自由 意思の活動)
レベル4 避けたい レベル	80%	1	3	できるだけ2m程度(最低1m) 1mを目安に学級内で最大限の間隔を取ること	本人だけでなく同 居の家族に発熱等 の風邪症状がある ときは自宅で休養		個人や少人数での 感染リスクの低い 活動で短時間での 活動に限定
レベル3 対策強化 レベル	40%	874人					
レベル2 警戒強化 レベル	15%	175人	2			感染リスクの低い 活動から徐々に実 施	感染リスクの低い 活動から徐々に実 施し、教師等が活 動状況の確認を撤 底
レベル1 維持すべき レベル	-	17人			本人に発熱等の風 邪症状があるとき	週別な意果対策を	十分な感染対策を
レベル0 感染ゼロ	県内で継続的な感染が起こっていない状況		-		か証人かめるとさ は自宅で休養	行った上で実施	行った上で実施

- \* 県リスクレベルに係るレベル及び判断基準は令和3年12月改訂時点
- \* 文部科学省「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル(「衛生管理マニュアル」)」は2021.11.22Ver.7

#### 《参考資料》



